

● 令和元年度 社会福祉法人 サライ福社会 事業報告

本法人は、令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）において、以下の<Ⅰ>～<Ⅳ>の事業及び活動を行った。

<Ⅰ> 障害福祉サービス事業

定款に規定される、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）」による第二種社会福祉事業の障害福祉サービス事業（以下に記載する事業所）の経営を行った。

- ① 生活介護事業所「サライ」の設置・経営。
- ② 共同生活援助事業所「ケアホームサライ第二」の設置・経営。
- ③ 居宅介護、同行援護、重度訪問介護、堺市障害者移動支援事業所「サポート サライ」の設置・経営。

<Ⅱ> 堺市障害児施設入浴サービス業務委託の受託事業。

<Ⅲ> 収益事業

社会福祉法第26条の規定により、不動産賃貸業の事業を行った。

<Ⅳ> その他、地域福祉の向上につながる活動。

バザー、福祉フェスティバルへの参加。

平成31年(令和元年)度 サライ 事業報告書(障害福祉サービス事業)

1. 所在地 堺市堺区百舌鳥夕雲町2-237-1
2. 利用定員 20名
3. 職員数 18名
4. 事業開始年月日 2019年4月1日～2020年3月31日
年間開所日数：営業日数 259日 (一日平均利用者数19.6人)

5. 事業の内容

・生活介護事業

障害者総合支援法に規定される障害福祉サービスの生活介護を、下記業務を通じて適切に実施した。

- (1) 生活介護サービスの提供 (2) 生活介護支援計画の作成
(3) 利用者負担額の請求・受領事務 (4) 介護給付費請求・受領業務
(5) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務 (6) 事業統計の作成等

6. 利用者へのサービス提供内容・基本計画・活動の実施

- (1) 地域の中で質の高い生活が営めるよう外出意欲を高め、社会参加を目的とし公共の乗り物を利用し、外出の機会を増やしました。
- (2) 自立した日常生活・社会生活を目指し、入浴、排泄、食事介護等を行いました。
- (3) 外気浴や散歩、トレーニングマシンなどにより、健康の維持、増進を図りました。
- (4) 生産活動として、線香の箱折り、線香詰めなどの作業を行いました。
- (5) 旅行を計画し、利用者の参加の有無の確認を行い実施しました。旅行への参加により生活の質の向上とともに、充実した時間の提供が出来ました。

7. 日課、週間予定

(1) 日 課

	午前の活動		午後の活動
08:15	送迎開始	13:00	個別的活動
10:00	朝の会	14:50	帰宅準備
10:15	グループ活動・軽作業	15:30	送迎開始
12:00	お昼休憩		

- (2) 週 課 月・火・木・金・土・・・通所日 水・日・・・休日

8. 施設運営管理

(1) 職員体制

管理者 1名(生活支援員兼務) サービス管理責任者 1名 生活支援員 14名(うち、常勤5名、非常勤9名)
看護職員 1名(非常勤) 医師 1名(非常勤) PT 1名(非常勤)

(2) 防災について

防災・避難訓練を実施(令和2年3月26日) 1回/年

9. 健康管理 【契約医療機関 溝口医院】

- (1) 1/月(木) 徳網医院長による診察・健康相談。
- (2) 1/週(金) 看護職員による血圧・体温・酸素飽和度・脈拍の測定。
- (3) 1/週(金) 歯科衛生士による口腔清浄。
- (4) 1/週(月) 柔道整復師による機能訓練及びマッサージ。理学療法士によるリハビリの実施。
- (5) 年末以降、インフルエンザにはじまり、新型コロナウイルスが大流行した。特にコロナウイルスにおいては、外出の自粛を余儀なくされるなど、日中活動において大きな影響を受けた。活動中は、マスク着用、手洗いうがいの徹底、利用者間及び職員間に距離をとる。常に換気をする。利用者帰宅後は、館内、車いすなどの徹底消毒を行う。業務終了後や休日においても、不要不急の外出を控えるように職員に周知する。など、感染予防に努めた。

2019年度 ケアホームサライ第二 事業報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

		サライ第一	サライ第二																								
所在地		北区百舌鳥赤畑町2丁 (2018年4月1日入居) 新築一戸建て住宅	西区上野芝町4丁 (変更なし) 一戸建て住宅を改装																								
利用定数		女性4名	男性4名女性1名																								
職員定数		常勤 2名 (非常勤 14名)																									
事業開始年月日		2002年4月1日 2006年10月1日 ケアホームに改称。	2003年12月1日 2006年10月1日 ケアホームに改称																								
生活支援	日課及び週課	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">月 火 木 金 土</th> <th style="text-align: center;">休日支援 (水 日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">7:00</td> <td style="text-align: center;">起床 着替え 洗面 朝食</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8:00</td> <td style="text-align: center;">朝食 外出準備</td> <td style="text-align: center;">起床 着替え 洗面 朝食</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9:00</td> <td style="text-align: center;">ホーム出発 生活介護事業所へ</td> <td style="text-align: center;">外出準備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10:00</td> <td style="text-align: center;">生活介護事業所にて活動</td> <td style="text-align: center;">外出支援開始 ショッピングモール ポウリング 天王寺、難波などの繁華街</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">16:00</td> <td style="text-align: center;">帰宅 休憩 買物等</td> <td style="text-align: center;">帰宅 休息</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">18:00</td> <td style="text-align: center;">夕食 入浴</td> <td style="text-align: center;">夕食 入浴</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">22:00</td> <td style="text-align: center;">就寝準備 就寝</td> <td style="text-align: center;">就寝準備 就寝</td> </tr> </tbody> </table>			月 火 木 金 土	休日支援 (水 日)	7:00	起床 着替え 洗面 朝食		8:00	朝食 外出準備	起床 着替え 洗面 朝食	9:00	ホーム出発 生活介護事業所へ	外出準備	10:00	生活介護事業所にて活動	外出支援開始 ショッピングモール ポウリング 天王寺、難波などの繁華街	16:00	帰宅 休憩 買物等	帰宅 休息	18:00	夕食 入浴	夕食 入浴	22:00	就寝準備 就寝	就寝準備 就寝
	月 火 木 金 土	休日支援 (水 日)																									
7:00	起床 着替え 洗面 朝食																										
8:00	朝食 外出準備	起床 着替え 洗面 朝食																									
9:00	ホーム出発 生活介護事業所へ	外出準備																									
10:00	生活介護事業所にて活動	外出支援開始 ショッピングモール ポウリング 天王寺、難波などの繁華街																									
16:00	帰宅 休憩 買物等	帰宅 休息																									
18:00	夕食 入浴	夕食 入浴																									
22:00	就寝準備 就寝	就寝準備 就寝																									
	主な行事等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">7月</td> <td style="text-align: center;">夏まつり</td> <td>大仙小学校の盆踊り大会に参加、出店で買い物し夏の風情を楽しみました。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9・12月</td> <td style="text-align: center;">旅行</td> <td>香川のレオマワールドへいき、地元の美味しいうどんを堪能。恒例の沖縄全体旅行で「社のにぎわい」鑑賞。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10月</td> <td style="text-align: center;">ふれあい祭り</td> <td>毎年恒例の市役所のお祭りに参加、パルーンアートやチラン、マグネット等いただき地元の方と交流しました。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12月</td> <td style="text-align: center;">人形劇</td> <td>素朴な人形と楽しい語り口調で、昔懐かしい人形劇を楽しみました。</td> </tr> </tbody> </table>		7月	夏まつり	大仙小学校の盆踊り大会に参加、出店で買い物し夏の風情を楽しみました。	9・12月	旅行	香川のレオマワールドへいき、地元の美味しいうどんを堪能。恒例の沖縄全体旅行で「社のにぎわい」鑑賞。	10月	ふれあい祭り	毎年恒例の市役所のお祭りに参加、パルーンアートやチラン、マグネット等いただき地元の方と交流しました。	12月	人形劇	素朴な人形と楽しい語り口調で、昔懐かしい人形劇を楽しみました。												
7月	夏まつり	大仙小学校の盆踊り大会に参加、出店で買い物し夏の風情を楽しみました。																									
9・12月	旅行	香川のレオマワールドへいき、地元の美味しいうどんを堪能。恒例の沖縄全体旅行で「社のにぎわい」鑑賞。																									
10月	ふれあい祭り	毎年恒例の市役所のお祭りに参加、パルーンアートやチラン、マグネット等いただき地元の方と交流しました。																									
12月	人形劇	素朴な人形と楽しい語り口調で、昔懐かしい人形劇を楽しみました。																									
	交流	第27回福祉フェスティバルに参加し、地域の方々との交流を深めた。																									
健康管理		<p>定期的に通院サポートを行い、また日々の暮らしの中で体調の管理に努め、突発的な病気、怪我などに対してはその都度対応した。</p> <p>利用している事業所にて健康診断を受ける。</p>																									
防災		<p>防火の徹底管理指導。(喫煙、ガス、電気機器等)</p> <p>消防局による点検実施。(通報装置、消火器、避難経路、避難場所等)</p> <p>避難訓練を実施し消火器の使用法、避難誘導、避難経路、避難場所を確認する。</p>																									
総括		<p>令和元年4月30日付けでホーム2の利用者が1名退所。 令和2年2月1日付けでホーム2に女性利用者が入所。新しい入居者が、スムーズに新生活になじめるように、実家と生活介護の現場とホームが連携をとり、受け入れまでの環境を整えた。</p> <p>汎下垂体機能低下症の利用者さんについて、2度の入院(右真珠腫性中耳炎の手術、低ナトリウム血症での緊急入院)があった。医療との連携をとり、退院後も経過を見ながら、慎重にリハビリと服薬管理をし支援を行っている。</p> <p>定期通院等のサポートを行い医師への相談、助言をもとに服薬を含めた健康管理に努めた。</p> <p>隣地を購入し、更地にして舗装工事を行った。今後、送迎時の乗降やスタッフの駐車スペースとして利用予定。</p> <p>新型コロナウイルスの爆発的な流行にそなえ、ホーム内の感染予防として、利用者スタッフの検温、手洗い、うがいの徹底をした。また室内の換気と消毒、机の配置等を変えて、利用者間での感染も予防。スタッフがウイルスを持ち込まないように、マスクの着用をし各人が危機意識をもつように、注意喚起を行った。</p>																									

令和元年度サポートサライ事業報告書

項 目	内 容
1 事業の内容	<p>障害者総合支援法に規定される障害福祉サービスの居宅介護、重度訪問介護、同行援護及び堺市が行う「地域生活支援事業」の一つである「移動支援事業」を、下記業務を通じて適切に実施する。</p> <p>(1)居宅介護サービス、重度訪問介護サービス、同行援護サービス、移動支援サービスの提供 (2)居宅介護計画、重度訪問介護計画、同行援護計画、移動支援計画の作成 (3)利用者負担額等の請求・受領事務 (4)介護給付費請求・受領業務 (5)利用者からの相談・苦情処理に関する業務 (6)事業統計の作成等</p> <p>① 契約時に利用者や家族に対し、援助内容や利用料金についてなど、重要事項説明書を用いて説明する。制度上の複雑な部分についても、理解を頂き、適切に必要なサービスが提供されるように説明する。</p> <p>② 支援計画の内容を必要時に見直し、変更時は利用者に内容を確認、同意を得た上で支援をする。</p>
2 従業者等の人員	<p>(1)管理者1名(サービス提供責任者兼任) (2)サービス提供責任者 1名(管理者兼任) (3)従業者 25名 (常勤1名 非常勤24名)</p>
3 利用者の人数	<p>・利用者数 通常の事業の実施地域及び近隣地域からの利用19名</p> <p>・移動支援12名(455時間/月(契約時間数)) ・居宅介護4名 103時間/月(契約時間数) ・重度訪問介護5名 1113時間/月(契約時間数) ・同行援護1名 50時間/月(契約時間数) ・家事援助1名 18時間/月(契約時間数) ・自費契約1名 (時間に関しては、派遣依頼次第で変動有。おおよそ7時間/月)</p>
4. その他	<p>・職員の質向上を下記のように努めました。</p> <p>研修会などに参加し、介護技術や人権学習などを通じて職員の質の向上、良質な福祉サービスの提供に努める。</p> <p>・危機管理の徹底を下記のように努めました。</p> <p>職員の事故に対する総合的な意識改革により、事故を未然に防ぐ。 様々な変化を素早く察知し事故が未然に防ぐ。</p> <p>利用者を守り、自分自身も守る為にも情報をチェックし、感染症の予防に努めました。</p> <p>・虐待事案も踏まえ、研修会の参加、職員間での勉強会、ミーティングを重ね、障害に対する理解や対応の技術を高めるように努めました。</p>

平成31年度（令和元年度） 堺市障害児施設入浴サービス事業報告

1	事業名	障害児施設入浴委託事業
2	履行場所	生活介護事業所 サライ
3	履行期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで
4	目的	自宅での入浴が困難な障害児に対し、健全な日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援するため、施設で入浴することにより当該障害児の身体の清潔の保持・心身機能の維持を図るとともに、その家族等の介護負担の軽減を図ることを目的とする
5	業務内容	堺市障害児施設入浴サービス実施要綱に基づく施設入浴サービス
6	業務の実施	① サービスの実施にあたり、あらかじめ利用者のバイタル（体温、血圧及び脈拍）について健康チェックをおこない体調を確認し実施した。 ② 健康チェックの結果異常があると認めたときは、家族への連絡を行い、サービスの変更、または中止とした。
7	対象者	① 身体障害者手帳、若しくは療育手帳の交付をうけている者、または知的障害があると判定を受けた者 ② 介護者が自宅で入浴させることが困難な者 ③ 支援学校中学部、高等部（18歳に達する日以後最初の3月31日までの者）
8	利用状況	利用者 ☆ 大阪府立堺支援学校／堺市立百舌鳥支援学校 中学部 2名 高等部 1名（男性2名 女性1名）
		利用回数 ☆ 月10回まで
		利用日 ☆ 月・木・土曜日（他曜日は、リクエストの応じて）
		利用時間 ☆ 15時～18時頃
		送迎 ☆ 支援学校、児童デイサービス、自宅
9	その他	<ul style="list-style-type: none"> * 自宅入浴困難な障害児の清潔の保持、心身機能維持につとめた。 * 入浴前にバイタルチェックをおこない体調の確認につとめた。 * コロナ感染予防につとめた。 * 個々の障害特性にあった方法を取り入れながら入浴支援をおこなった。 * 体調、情緒面など、支援学校、児童デイ、保護者との連携を大切におこなった。